

# 青森型リモート／ダブルワーク推進事業『AOMORI ASTEROIDS PROJECT -青森小惑星群計画-』

特定非営利活動法人あおもりIT活用サポートセンター（青森県青森市、青森県弘前市）

コンソーシアム名	青森小惑星群共同体 -AOMORI ASTEROIDS PROJECT consortium-		
コンソーシアム参加機関名 (下線は代表機関)	特定非営利活動法人あおもりIT活用サポートセンター、青森県、弘前市、弘前大学、青森明の星短期大学、株式会社コンシス、株式会社技術評論社、株式会社リ・ポジション、株式会社デザインアクト、株式会社アンティ・ファクトリー、株式会社アンティ・システム、株式会社リチャージ、株式会社タービン・インタラクティブ、株式会社ソニックガーデン、一般社団法人データクレイドル		
地方移動者数	個人：40人	地元ワーカー数	個人：50人
事業概要	<p>「青森小惑星群計画」は、地元ワーカーや移住・Uターン人材が、地域コミュニティの中で都市部の仕事を地方で請け負う事業である。青森県は他県に比べて、交通・気候などの面で企業誘致には不利なため、個人で働ける仕事を増やす。現在官民で取り組んでいる、仕事を受託するプラットフォーム（ギルド）により、都市部からの業務が増加している。ギルドの業務内容は、電子書籍化・ウェブ制作・ライティング・ゲームイラストなど多岐にわたる。拠点整備により、受託業務を中心としたコミュニティが形成、同時に自治体のUIターン施策と連携し、都市部から地方への移住を加速させる。拠点整備した「青森市」「弘前市」は豪雪地帯で通勤困難者も多いため、テレワークによる業務効率化により青森県内のテレワーク啓蒙にも寄与する。</p>		

## 青森県の現状

## 青森型リモート／ダブルワーク推進事業

## 青森市拠点 Gravity CO-WORK

## 青森県の未来

**青森県の課題**

- ❗ 都市部への人口流出
- ❗ 一次産業従事者の高齢化

**青森県の強み**

- ❗ 女性が働きやすい環境
- ❗ 兼業への抵抗感が薄い

**本事業の取組**

- ❶ 「仕事」を誘致するプラットフォームづくり
- ❷ 青森で働き続けられるワーカーの育成
- ❸ 自立・継続性を重視した拠点整備

青森は人口減少問題が顕著で、最大の課題は「仕事・雇用」である。すでに実施している都市の仕事を地方で受託する（『ギルド』『クリエイターズバンク』）を増幅させるために拠点整備を実施する。拠点はコミュニティの中心となり、都市と地方の交流や、地域内の業務の効率化を実現する。結果、UIターン（特にUターン）人材が増加し、受注規模も拡大していく。

**本事業の成果**

拠点利用者数（2拠点合計）

移住 (UIターン)	11名
長期滞在	29名
個人利用 (延べ人数)	680名

青森市拠点  
Gravity CO-WORK

- 青森県青森市古川1丁目8-2 倉内ビル3階
- 坪数 22.58坪
- 竣工年月日 1986年(築30年)
- 最寄駅 JR 青森駅



弘前市拠点  
ワークスペース SHIFT

- 青森県弘前市白石町38-1 コンシス1F
- 坪数 約33.0坪
- 竣工年月日 1970年(築46年)
- 最寄駅 JR 弘前駅

青森県弘前市白石町38-1 コンシス1F

- 坪数 約33.0坪
- 竣工年月日 1970年(築46年)
- 最寄駅 JR 弘前駅



**事業完了後**

- ❗ IT人材のスムーズな受け入れ態勢の構築
- ❗ 青森県内の他地域への拠点の整備
- ❗ 県事業と連携した受注拡大の事業展開(平成30年度～)
- ❗ 他県の小惑星との連携体による受注スキーム形成

リモートワーク・ダブルワークが育つ土壌はある



育成するための組織と拠点を整備することが必要

# 青森型リモート／ダブルワーク推進事業『AOMORI ASTEROIDS PROJECT -青森小惑星群計画-』

特定非営利活動法人あおもりIT活用サポートセンター（青森県青森市、青森県弘前市）

## ■整備した拠点の概要

### Gravity CO-WORK（グラビティコワーク）

青森県青森市古川1丁目8-2 倉内ビル3階

JR青森駅から徒歩5分。

利用対象者は、移住者・長期派遣者・地元ワーカーなど。

約20名が収容可能。

パソコンやネット回線を利用した一般的な業務が可能。



### ワークスペースSHIFT（シフト）

青森県弘前市百石町38-1 株式会社コンシス1階

JR弘前駅から徒歩15分。

利用対象者は、移住者・長期派遣者・地元ワーカーなど。

約30名が収容可能。

パソコンやネット回線を利用した一般的な業務が可能。



## ■整備完了後の取組内容の概要

青森市「Gravity CO-WORK」および弘前市「ワークスペースSHIFT」は、長期継続的な自立運営を目指し、コンソーシアムで連携して運営をしていく。テレワーク拠点でのソフト事業支援として青森県庁が予算化を進めているほか、テレワーク拠点の利用者からの月額利用料を徴収する。それに加え、都市部からの業務を受注するプラットフォームである「ギルド」「弘前クリエイターズバンク」での収益などを資金とする。さらに、定期的なイベント開催をすることで、地元ワーカーへの拠点認知や広報を進める。長期計画としては、青森県内の他エリアでも同様のテレワーク拠点を形成し、県内全域のネットワーク化を図る。平成30年度は、移住者15名・長期滞在36名・個人利用は1680名を、両拠点の合計目標としている。

# (参考①) 整備した拠点について

## ■青森県青森市「Gravity CO-WORK」

JR青森駅から徒歩3分程度の中心地にあり、「のっけ丼」で有名な青森魚菜センターに隣接。商店街「ニコニコ通り」に面しており、人通りも多い。徒歩1分に位置する「フェスティバルシティ アウガ」には、青森市役所が平成30年1月に移転されたばかり。青森空港まで車で30分、新幹線が通る新青森駅を利用すれば東京まで3時間30分と、**都市部へのアクセス**も良い。

**Gravity**  
CO-WORK  
グラビティ・コ・ワーク

AOMORI

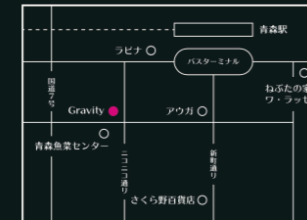
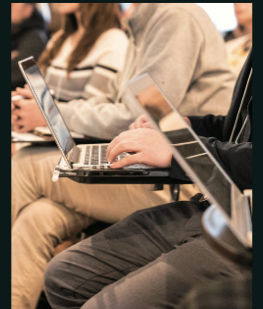
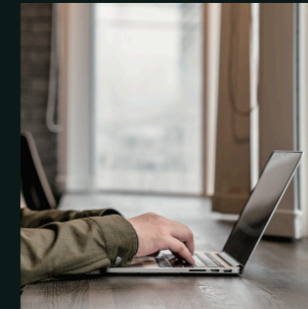


### The Center of Gravity

グラビティコワーク [Gravity CO-WORK] は、地元の IT/ クリエイティブワーカーや移住者の重力場。首都圏ともアクセスの良い青森駅前に位置し、シゴトやコミュニティを引き寄せます。コワーキングスペースやイベントスペースとしてご利用いただけます。

- 青森駅から徒歩5分
- 青森県庁へも徒歩5分
- 青森市役所駅前庁舎 徒歩 1分
- 30 名程度のイベント対応
- Wi-Fi・電源完備
- プロジェクター (5500lm)\*
- 複合機 (A3)\*
- 大型モニター (55inch)
- スマートロック・防犯カメラ
- ロッカー

\*有料貸出



030-0862  
青森県青森市古川1丁目8-2  
倉内ビル 3F  
017-718-0207  
info@gravity-co-work.jp  
gravity-co-work.jp

NPO法人 Aoit Gravity  
あおもりIT活用サポートセンター

- ✓ 電源
- ✓ Wi-Fi
- ✓ コンセント付き作業机
- ✓ AppleTV
- ✓ チェア13脚
- ✓ イベント用スタッキングチェア17脚
- ✓ 天吊りプロジェクター5500lm

- ✓ 壁掛け大型モニター 55インチ
- ✓ コイン式プリンター複合機
- ✓ スキャンスナップ
- ✓ 鍵付きロッカー
- ✓ ホワイトボード
- ✓ スマートロック
- ✓ 防犯カメラ



<http://gravity-co-work.jp/>

# (参考①) 整備した拠点について

## ■青森県弘前市「ワークスペースSHIFT」

『さくらまつり』で有名な弘前城まで徒歩5分、JR弘前駅まで徒歩15分に位置し、コンソーシアムを構成する株式会社コンシスが保有・管理する拠点。同社の1階部分を『ワークスペースSHIFT』として整備した。「青森ITワーク調査モニターツアー事業（青森県庁）」を同社が受託・運営し、都市部からの移住希望者に対して「お試し移住者」を例年10名以上を受け入れている。近隣の地元ワーカーが集い、新しいプロジェクトの立ち上げや、各種イベントなどが開催されている。

WORKSPACE  
**SHIFT**

HIROSAKI



### Shift Up!

弘前市のワークスペース・シフト [SHIFT] は、県内外の IT/ クリエイティブワーカーが集い、自分を・地域をシフトする場所。ノマドワーカーの拠点として、ミーティングの場として、イベント・セミナー会場として、ハッカソンの場として、首都圏と青森県内をつなぐ場所として開設しました。

- 弘前公園徒歩5分
- 弘前市役所徒歩圏内
- 50名程度のイベント対応

- Wi-Fi・電源完備
- プロジェクター (5500lm)<sup>※</sup>
- 複合機 (A3)<sup>※</sup>
- 大型モニター (55inch)
- スマートロック・防犯カメラ
- ロッカー

※有料貸出



036-8035  
青森県弘前市百石町 38-1  
コンシス 1F  
0172-34-9710  
info@consis.jp  
http://www.shift.aomori.jp

AOIT WORKSPACE  
consis

- ✓ 電源
- ✓ Wi-Fi
- ✓ コンセント付き作業机
- ✓ AppleTV
- ✓ チェア12脚
- ✓ イベント用チェア
- ✓ 天吊りプロジェクター5500lm

- ✓ 壁掛け大型モニター 55インチ
- ✓ コイン式プリンター複合機
- ✓ スキャンスナップ
- ✓ 鍵付きロッカー
- ✓ ホワイトボード
- ✓ スマートロック
- ✓ 防犯カメラ



<http://www.shift.aomori.jp/>

## (参考②) 整備完了後の取組内容について

### ■平成29年度の利用者実績

✓ 移住 (UIJターン)	11名
✓ 長期滞在	29名
✓ 個人利用 (延べ人数)	680名

### ■次年度以降の利用者目標

	平成30年度	平成31年度	平成32年度
移住 (UIJターン)	15名	18名	18名
長期滞在	36名	40名	40名
個人利用 (延べ人数)	1680名	2420名	2420名

## (参考②) 整備完了後の取組内容について

	内 容	関連企業・団体	実施時期
<b>■都市部からの仕事の移動</b>			
ギルド	都市部の仕事を受注し、地元ワーカーに再発注していくプラットフォームである「ギルド」。コンソーシアム加入団体である株式会社技術評論社からは、電子書籍制作を継続的に発注いただいている。	株式会社技術評論社、あおもりIT活用サポートセンター	通年
弘前クリエイターズバンク	都市部のゲームグラフィック制作案件を、弘前市の地元ワーカーに発注するプラットフォームである「弘前クリエイターズバンク」。一流デザイナーから技術を学びながら仕事を請けることができる。	株式会社デザインアクト、株式会社コンシス	通年
<b>■テレワーク</b>			
ITテレワーカー流入推進	コンソーシアム加入団体である青森県庁が、都心のITテレワーカーと地元ワーカーとの交流促進、情報発信、テレワーク拠点のPR、UIJターンエバンジェリスト、二拠点移住実証ツアー、青森県へのUIJターン希望の潜在者調査など、事業化を進めており、予算要求し、議会で議決見込み。	青森県新産業創造課、あおもりIT活用サポートセンター	通年
青森ITワーク調査モニターツアー	都市部のITワーカーが、青森県で「移住移住」し、普段通りの仕事ができるか検証する事業。例年続いており、今年も10名以上のITワーカーが青森県に長期滞在を予定。地元ワーカーとの交流にも重きを置いている。	株式会社コンシス、青森県新産業創造課	9月前後

## (参考②) 整備完了後の取組内容について

	内 容	関連企業・団体	実施時期
<b>■セミナー</b>			
地元ワーカースキルアップセミナー	レンタルサーバーCPIを提供するKDDIウェブコミュニケーションズ（東京）が、「Web活用に効果的なデザインツールとフォントを学ぼう」と題したセミナーイベントを、青森市Gravity CO-WORKで開催予定。個人事業主などを中心としたIT系の地元ワーカーに向けたものである。	株式会社KDDIウェブコミュニケーションズ、あおもりIT活用サポートセンター	4月28日(土)
高技能テレワーカー養成セミナー	シックス・アパート株式会社は、青森県商工労働部新産業創造課と協同で、高技能テレワーカーを養成し、青森へのUIJターンを支援するキャンペーン「SAWS@青森」を開催。UIJターンの実現と高技能テレワーカーの養成のために、テレワークならびにウェブ制作やマーケティングのノウハウを提供するセミナーを開催する。 ※「高技能テレワーカー」とは、仕事において高い技能を持ち、場所を問わず自律して職務を進め、成果を出せる人のこと。	シックスアパート株式会社、青森県新産業創造課、あおもりIT活用サポートセンター	5月中旬
ハッカソン	青森市Gravity CO-WORKで、ハッカソンを開催する。コンソーシアム団体である株式会社ソニックガーデンの社員、青森県内のエンジニア、学生エンジニアを集め、チーム対抗で一泊二日の時間を掛けて、それぞれウェブサービスなどのプロダクトを制作する。 ※ソニックガーデンは、社員約30名全員がリモートワークで、一般財団法人日本次世代企業普及機構（通称 ホワイト企業普及機構）が主催する、第3回「ホワイト企業アワード」において「イクボス部門賞」を受賞。また平成29年2月には、「働きがいのある会社」ランキングで「ベストカンパニー賞」を受賞したばかり。同社の青森現地エンジニア採用の人材探しも兼ねる意図もあり、実際に人材採用に至った場合、都市部の企業（ソニックガーデン）に正社員雇用されながら青森でテレワークできることになる。	株式会社ソニックガーデン、あおもりIT活用サポートセンター、県内IT起業、県内大学	6月3日(日)～ 6月4日(月)
クリエイティブ人財との連携による創造的商店街構築事業	商店街の活性化及び若者のUIJターンや定住を促進するため、デザイナー等のクリエイティブな発想を持った人材を活用した商店街活性化のイベントを実施 ※予算の承認および、当コンソーシアム関連法人による採択が条件	青森県商工労働部、株式会社コンシス、あおもりIT活用サポートセンター	6月中

# (参考②) 整備完了後の取組内容について

## ■個人テレワーカー（小惑星）たちの利用例

### ✓30代前半・男性・青森市にUターン・ITエンジニア

現在東京に住んでいるが4月から青森市にUターンが決定していて、そのタイミングで学生時代の友人とともにIT系の起業を計画している。Gravity CO-WORKの利用登録および法人登記も同拠点で予定。

### ✓20代後半・女性・青森市の地元ワーカー・ライター/エディター

3月末で地元企業を退職して、都市部の案件を中心にライター/エディターとして独立予定。在宅ワークを予定していたが、コミュニティワークへの興味と、自宅には無いオフィス用設備備品を利用したく、Gravity CO-WORKに登録を検討中。

### ✓30代前半・男性・弘前市に移住・プランナー

自宅兼事務所となっているが狭く、コミュニティにも広がりがない。顧客やプロジェクトメンバーとの打ち合わせスペースとしても使えるので、ワークスペースSHIFTを利用。現在は個人事業主だが4月から法人化する。

### ✓40代前半・女性・弘前市に移住・事務代行/ブロガー

自宅兼事務所だが、自宅で作業すると家事・育児に気をとられて集中できないため、ワークスペースSHIFTを利用したい。電子書籍制作業務などもやっているが、実機確認用のタブレット端末をワークスペースSHIFTのロッカーに置いて作業を進めたい。

### ✓20代前半・男性・青森市の地元ワーカー・学生起業家

事務所がないので普段から駅前のカフェで仕事をしているが、毎日のようにいると都合の悪いこともあり、打ち合わせスペースに困ることが多かった。法人登記も含め、Gravity CO-WORKを利用予定。





# (参考②) 整備完了後の取組内容について

## ■開催したイベント



1月20日(土)・青森市Gravity CO-WORK・セミナーイベント  
『CPI20周年サンクスキャラバン  
「Webのこれから」～Web制作に必要な技術と考え方～』



2月10日(土)・青森市Gravity CO-WORK・セミナーイベント  
『青森流テレワーク -地方での稼ぎ方&暮らし方-』



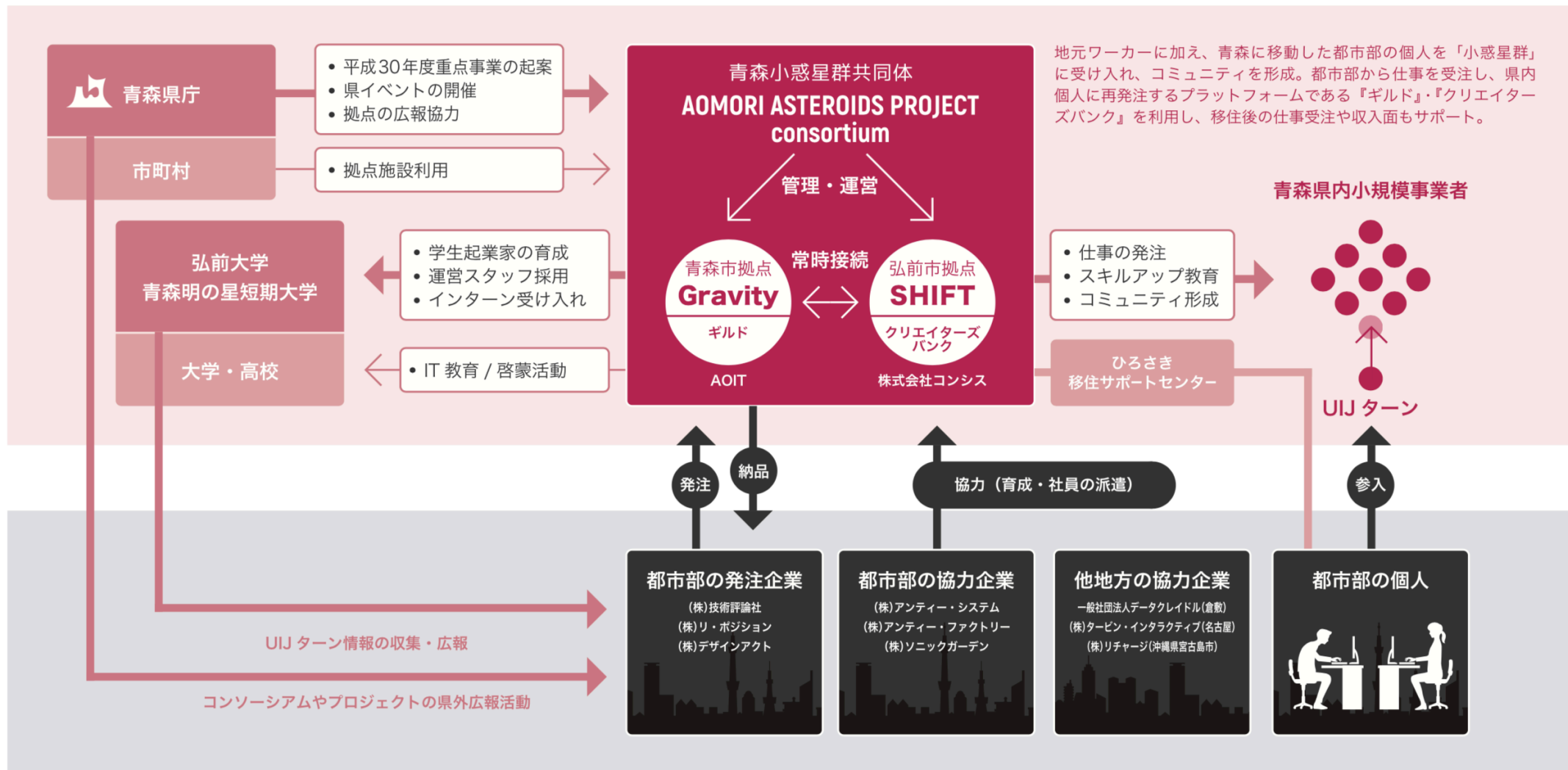
2月3日(土)・青森市Gravity CO-WORK・セミナーイベント  
『東京じゃ話せない『禁断のウェブライティング』-その筋のプロが勢揃い-』



2月9日(金)・弘前市ワークスペースSHIFT  
『青森小惑星群計画』テレワーク拠点オープニングイベント

# (参考②) 整備完了後の取組内容について

## ■今後のコンソーシアムと協力企業の活動



地元ワーカーに加え、青森に移動した都市部の個人を「小惑星群」に受け入れ、コミュニティを形成。都市部から仕事を受注し、県内個人に再発注するプラットフォームである『ギルド』・『クリエイターズバンク』を利用し、移住後の仕事受注や収入面もサポート。

青森県庁は平成 30～31 年度において、青森市『Gravity CO-WORK』弘前市『ワークスペース SHIFT』の自立運営を支援するための、2 年重点事業を予算化した。青森県が主催もしくは参加する都市部イベントで、積極的に当事業の取組をPRし、『ギルド』・『クリエイターズバンク』への発注候補企業や、青森へ移住希望への個人に対してマーケティング。また、東京有楽町にある「ひろさき移住サポートセンター」と連携し、移住やUターン希望者の紹介を受け入れる。

すでに『ギルド』・『クリエイターズバンク』へ仕事を発注している都市部企業は複数存在。営業活動と紹介によって受注案件数・発注企業数を増やす。